

## 市指定文化財<史跡>

こがねづかじょうあと  
黄金塚城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市四町分 岩平



黄金塚城の城主は、『菊池風土記』によれば「惣谷平山姓 代々居す」とあり、城跡は四町分字塚原の背後の、標高223mの丘陵地にある。菊池から阿蘇二重峠に至る山越え道の西側で、北東の麓に岩下の集落を望む高台になっている。

5万分の1の地図を見ると、この城は菊池川支流の河原川、そして上流にある芝原・塚原・岩下・若木の枝川が集落に入り込んでいて、溪谷を縫う複雑な谷が天然の要害となっていることが分かる。

高台は東西45m、南北7～2.6の細長い平坦地であり、ここに黄金塚城の石碑が建っている。

この城は、近くにある市成・掛幕・五社尾の諸城に比べてはるかに低いが、眺望は良く食・住の環境には恵まれている。

恐らく市成城の後衛として阿蘇・豊後方面に備えたものと考えられる。